



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第129号 2025年9月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

水を求めて悪戦苦闘



溜池水汲み



地域によって、洪水と日照りに極端に分かれた今年の夏。わが谷戸は後者に見舞われ、本田はついに地割れを起こしたので、ドラム缶に水を貯めて何回も運んだり、ブルーシートに水を流したり、浅知恵を絞りましたが、効果は如何に。台風頼みかなあ。

谷戸往来1

山崎の夏まつり 7/20(日)

今年も山崎八雲神社の御神輿に当会から9人参加しました。担ぎ手は人数も多く若手の参加も増え、練り歩く距離も長くなりました。御神輿の頂ぎには、谷戸の稲穂をくわえた鳳凰が男衆の勇ましい掛け合いの中で揺れていました。



猛暑と水不足で辛い夏になりました。各地で大雨の被害が出る中、鎌倉だけは、7月18日以来、まとまった雨がありません。8月下旬の時点では、田んぼの水が枯れて、ひび割れができています。40年近く谷戸の田んぼを見ていますが、これほどの水不足は経験したことがありません。昨年以上の猛暑で全国的に40度近い気温が当たり前になっています。鎌倉は涼しい方ですが、33度を超えると作業が厳しいです。猛暑の影響なのか、アオマツムシ（木の上でリーリーとうるさく鳴くコオロギの仲間）が例年より一週間ほど早く鳴き始めました。

●7月から8月の谷戸でよくなったこと心配なこと

よくなったこと 今年から設置した「インセクトホテル」に虫たちが入居しています。写真のように、竹筒や丸太にあけた穴にハチが巣作りをした後、穴をふさいでいます。人を刺すハチではなく、ア



インセクトホテルに幼虫の餌を運ぶ
狩バチの一種

オムシやクモを幼虫の餌にするために、穴に運びこむ「狩バチ」と言われているハチの仲間です。昨年あたりから、谷戸の生きものが急激に減少していますが、タマムシ、コクワガタが増えているように感じます。近年のナラ枯れ（コナラの木が枯れていく現象）で、弱った木や枯木が増えたため、幼虫が育ちやすくなったのかもしれません。



8月のインセクトホテル

心配なこと 今年の夏はセミが少ないと言われています。ヒグラシ、アブラゼミの鳴き声が少ないです。幼虫が育つのに数年かかるので、近年の猛暑の連続が、セミの幼虫に影響を与えたのかもしれません。もしそうならば、来年もセミが少ないかもしれません。

●草取り、草刈りと昆虫

夏は草との闘いですが、谷戸の田畑で作業することが自然保護につながります。市内ではほとんど見られなくなったコオロギやバッタ、例えば、タンボコオロギ、ヤチスズ、クマコオロギ、コバネイナゴ、ショウリョウバッタモドキ、クルマバッタなどが生息しています。これらは、昔からある里山の田畑にしか棲んでいません。家庭菜園や畔をコンクリートで固めた田んぼ、ビ



コバネイナゴ



ショウリョウバッタモドキ

ニールで覆われた畑では守れないのです。谷戸が鎌倉中央公園として整備されるとき、元からある田畑を残すことができたこと、市民が参加して、昔ながらのやり方で農作業を続けたことが貴重な虫を守っています。コオロギやバッタは、畑や畔に、足首より低い草がはえている場所で暮らします。多少は除草が行き届かないこと、土手の草を刈った後にまた草が再生してくることが、無駄なようでも実は生きものを守ることに繋がっているのです。

田んぼ班



田植後はコナギが育つ前に大急ぎで田の草取り。しかし猛暑で雨なく田んぼ全面が渇水という未曾有の事態！溜め池の水を汲み入れたり、上の湿地の水路を整備したり...あとは谷戸田の保水力に稲の無事を祈るのみです。

8/24 本田北側の草刈り



農芸班



梅干しをお日さまに当て水分を抜き、長く保存できるようにします。今年は赤じそが多くきれいな紅色に染まりました。まんべなくお日さまが当たるようころころがすと、辺り一面、馥郁たる香りで満たされます。

畑班



昨年、一昨年同様に早々と梅雨が明けて、日照り&酷暑の夏。さつまいもが元気がないほかは、にんじん、たのくろ豆、さといも、落花生、長ねぎ、本当によく耐えている。あとは雨・・・線状降水帯・・・待ってます。

雑木林管理班



今年の梅雨明け後、多湿や猛暑の中、谷戸の草木はいつも通り元気に生長しています。谷戸の草木は湿気や暑さを味方に行っている、それらに負けないよう、草刈りに奮闘しています。



8/1 梅天日干し

生態系保全班



近年は暑さで田んぼの中のカエルが気絶するほどでしたが、今年は暑さに加え水が不足し、水生生物の危機を感じています。水路の手入れでなんとか水を確保しようと必死ですが思うようにはいきません。

植物育成班



降雨がなく乾燥していますが、カナムグウは元気に繁殖しています。秋に花粉が飛散する前に駆除しないと、抜きづらくなります。駆除後の清々しい景色を思い浮かべれば、暑い中の作業も頑張れます。

7/13 案山子作り



自然遊び班



里山探検隊「かかし作り」「田の草取り」★めんどくさかったけど、どじょうがいたので楽しかったです。(小4)★田んぼにすいこまれそうだった。(小4)★かかし作り、服選びを工夫した。(小5)

谷戸の生きもの

キアゲハ 駆除の方法はいろいろあるが・・・

田の脇で栽培している“にんじん”に毎年発生する害虫だ。幼虫に気づくのが遅れると一株丸坊主なんてことも。アゲハチョウの仲間はミカン科植物を食べるが、キアゲハだけ例外でセリ科植物を食べる。とても不思議だと思っていたが、近年のDNA研究で3500万年前にセリ科植物へ食草転換したことが判明したとのこと。私が谷戸でにんじん栽培を始めた時よりかなり前だね。そう聞くとあまり文句も言えないが、こちらにも事情があるので仕方なく駆除をする。方法はいろいろあり、谷戸の会に苦情電話が来るといけないのでちょっと言いづらい方法もあるが、一番穏便なのは幼虫をつまんでポイッ！と田んぼに投げ入れること。水死しているか、案外這い上がっているのか確かめたことはない。田んぼ班からも特に苦情はないが、何年も繰り返しているうちにイネ科植物に食草転換をしたらどうしよう😅 (たのくろまめお)



桃ノ木下 (タンポポ)



田の脇 (ヒガンバナ)



幼虫 (田の脇：にんじん)

谷戸往来 2

じゃがいもを寄付 (にじニコ食堂、グループホーム虹の家、みんなの居場所ふかさわ地域食堂)

谷戸の会さんよりじゃがいも5キロをご寄付いただきました。当日は8名で約100個のコロッケを作りました。たくさんのコロッケがテーブルに並ぶと、子どもも大人も笑顔が溢れました。



にじニコ食堂

山崎谷戸の会からいただいたものと、袋から取り出すと4人が「ジャガイモ!」。2月頃植えて6月の終わりに収穫したと聞くと「大変だったわね」「じゃ、ついこの間じゃない」と発言が続きました。足元の不安定な方が多いので、テーブルの上に洗い桶を置き順番に泥付きジャガイモをたわしで洗いました。きれいになった新じゃがはそのままふかしておやつになりました。皆さん大満足でした。



グループホーム虹の家

教員補助作業 8/28(木) 深沢小学校、富士塚小学校、植木小学校、山崎小学校、ひだまり、Largoの教員、PTAのみなさまによる

教員補助作業が実施されました。今回は、体験学習をしている田んぼ周りの草刈り、苗床に使用した畑の手入れ、水路の草刈りをしていただきました。暑い中適宜休憩をはさみながら、若い力で熱心に取り組んだ結果きれいに草が刈られ、今後の稲刈り作業がしやすくなりました。先生からは、「稲が育っていたのに驚いた」「草の勢いもすごいことがわかった」との感想と、「田植えから稲刈りまでの間にいろいろな作業があり、谷戸の会メンバーが大変な作業をしていることを生徒に伝えたい」との言葉をもらいました。



もめんぼたけ(小名)

この場所は昭和の初め、布団を作るための和綿を栽培していました。以来、荒れ地になっていましたが、2002年に深沢小学校5年生が開墾し復元しました。その後は「昔ながらの畑」として6年生が体験学習に励みました。今では青空自主保育やんちゃおが担当しています。冬の間には落ち葉や米糠を入れて土作り、春には生きものと知恵比べをしながら苗を育てています。綿ボタンやわら細工の飾りに付けて、谷戸まつりなどで販売しています。



深沢小5年 田の草取り 5/13

★一年かけて育てることが大変。

★イネが空気を吸えるように稲の周りをかき混ぜ、草取りをしました。お米を作るにはこういった手間が必要なことを学びました。

★今回、谷戸へ行ってみて、この前よりとても稲が育っていて、びっくりしました。もっと育ってお米になるのを楽しみにして、ちょっと苦手な田んぼの仕事も頑張れそうです。

★ひとつひとつ稲の周りをかき混ぜるのがすごく大変だった。

★草取りで意外と稲と雑草を見分けるのが難しかった。

★草取りだけでも大変なのに、いねに酸素を加えなきゃいけないのが大変だったとおもいました。

★最初田うないした時、結構草を取った気がしたと思ったけど、また生えてきてびっくりしました。

★稲の周りを手でかき混ぜ空気を送らないと、お米があまり育たないということも初めて知りました。

★見た目では見えないけど、草取りした時に稲のよこからぶちぶちと雑草の抜ける音がして、前からそんなにたっていないのに、雑草がめっちゃ生えてて雑草の取り方をよく学びました。

植木小5年 田植え 6/20



★正かくにいねを植えるために、上図のようなはしごのような道具を使うことが意外でした。

★まず田んぼをふんでやわらかくします。指の間に沢山のドロがはさまって、最後は足全体がチョコレートみたいにかたまります。

★実際にやってみてこしがいたくなるなと思いました。せんようの道具がないとやっぱむずかしいと思いました。それなりのかくごがないと出来ないなと思いました。田植えって「大変だな」と、それで自分が食っている、田植えしてくれている人にかんしゃと思いました。

★他校の人たちもいろんな所でやっていて、高いところから見た景色はすばらしかったです。



★入った時、結構深くてこんなに深いとは思わなくてずるっといきました。稲を植える時も意外にむずかしくて、結構じかんがかかりました。



★田んぼにはメダカ、ザリガニ、ミミズ、クモ、ミシシippアカミミガメ、タガメなどがいました！そしてさいごに田んぼにダイブしました！いいにつめたくてさいこうでした。

9月

- 6日(土) 田 はさ準備(本田横)、
はさ作り(小段谷戸)、畔の草刈り
生 虫の音を聞く 1 ♣
- 7日(日) 田 はさ作り(本田横) ☆
- 8日(月) 畑 草取り、草刈り ☆
- 10日(水) 植 秋の野草観察 ♣
植 講座「秋の植物観察」 ☆
- 12日(金) 農 麦わら細工 ♣
- 14日(日) 田 はさ作り(もめんばたけ奥) ♣
- 17日(水) 畑 大根の種蒔き ♣
生 秋のチョウと鳥観察
- 21日(日) 田 稲刈り準備、畔・はさ周り草刈り
- 28日(日) 田 稲刈り ☆
自 里山探検隊「稲刈り」(3~6年生)
- 29日(月) 畑 かぶ・冬菜の種蒔き ♣

<お問い合わせ>

住所: 〒247-0066

鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX:

0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)

ホームページ:

<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:

ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

QRコード
からHPに
アクセス!



次号(会報130号):2025年11月発行予定
会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

10月

- 1日(水) 畑 草取り、草刈り ♣
植 湿地の花畑観察 ♣
- 4日(土) 田 稲刈り
生 虫の音を聞く 2 ♣
- 三菱電機(株) 保全活動
- 5日(日) 田 稲刈り ♣
- 6日(月) 畑 大根の間引き、長ねぎの土寄せ
- 8日(水) 生 秋のカヤネズミの調査
- 11日(土) 田 稲刈り
- 12日(日) 田 稲刈り、脱穀機準備
- 13日(月祝) 自 里山探検隊「さつまいも掘り」
- 15日(水) 植 カナムグラの除去作業
- 17日(金) 農 小麦選別、製粉 ♣
- 18日(土) 田 脱穀
- 19日(日) 田 脱穀 ☆
雑 雑木林の下草刈り ♣ ☆
- 20日(月) 畑 さつまいも掘り ☆
- 25日(土) 田 脱穀(予備)、粃干し、畔直し
鎌倉中央公園フェスティバル
- 26日(日) 田 粃干し、粃すり、
畔直し、苗床準備☆
雑 竹の伐採 ♣ ☆
青空自主保育なかよし会保全活動
- 27日(月) 畑 たのくろ豆の収穫、吊るし干し ☆

<集合時間・集合場所>

■各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
(農芸班、自然遊び班は、10時~)

■虫の音を聞く
19:00 場所:山崎口いしいし前集合 20:30頃まで

11月

- 2日(日) 田 粃干し、粃すり、精米、
はさ片付け、わら片付け ♣
- 3日(月祝) かまくら子育て支援グループ懇談会主催
「さといもとどろんこ」
- 5日(水) 生 晩秋のチョウと鳥観察
- 9日(日) 田 粃すり、精米、米の袋詰め
雑 雑木林を歩いて調査 ♣
自 こども里山一日体験「さといも掘り」▶
- 10日(月) 畑 絹さやの種蒔き ♣
- 12日(水) 畑 さといも掘り・洞入れ ♣
植 晩秋の植物観察 ♣
- 14日(金) 農 たのくろ豆殻出し ♣
- 16日(日) 田 粃すり、精米、米の袋詰め ♣
雑 雑木林の下草刈り
- 17日(月) 畑 落花生の収穫
- 23日(日) 田 精米、米の袋詰め、溝切り
雑 雑木林の除間伐
- 26日(水) 畑 さつまいもの洞入れ ☆
- 30日(日) 秋の谷戸まつり
畑 にんじんの収穫

田	田んぼ班	畑	畑班
雑	雑木林管理班	農	農芸班
自	自然遊び班	生	生態系保全班
植	植物育成班		

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
▶ 非会員 参加費500円/組
(申し込みはホームページより)

